実例から学ぶ投信販売

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

- 積立投資は長期的な資産形成に大変有効な投資手段です。ここではドルコスト平均法という積立投資手法のメリット・デメリットを確認していきましょう。

ドルコスト平均法　Case study

- 運用商品を定期的に継続して一定金額ずつ購入（積立）する方法を「ドルコスト平均法」と言いますが、基準価額が毎日変動する投資信託では、どのような効果がみられるでしょうか。そして、なぜ有効なのでしょうか。
「預金のケース」、「投信のケース」でそれぞれ見ていきましょう。

積立投資シミュレーション　実践編

お客様との会話事例

お客様：
「将来に備えて積立をしていきたいのだけどできるだけ安定していて収益性の高い積立方法はないかなぁ。」

アドバイザー：
「まず、普通預金口座に積み立てた場合と、一括で預けた場合の収益を投信NAVIの金融電卓を使って比較してみましょう。

アドバイザー：
「普通預金口座に240万円を一括で預けた場合と毎月1万円を20年間積立てた場合、普通預金金利が0.2%と仮定してみますと、一年後に受け取る利息は、元本が240万円に対して、それぞれ49万円と44万円となり、受取金額に大差はありません。

普通預金のケース（一括預入）

トピックス＞ 金融電卓＞ 長期投資シミュレーションタブより　一括預入した場合のシミュレーションをしてみます。

【入力項目】 当初資産：240万円、運用利回り：0.2%、期間：20年

すると、目標金額欄に**249万円**と表示され、**9万円**のプラスとなっていることがわかりました。

※ここで入力した普通預金の運用利回り0.2%は仮定の数値となり、
実在の普通預金の利回りは各金融機関ごとに相違します。

普通預金のケース（積立預金）

つぎに、積立投資シミュレーションタブより　積立預金した場合のシミュレーションをしてみます。

【入力項目】 積立金額：1万円、運用利回り：0.2%、期間：20年

すると、目標金額欄に**244万円**と表示され、**4万円**のプラスとなっており、一括預入と大差ないことがわかりました。

積立投資シミュレーション　実践編

お客様との会話事例

アドバイザー：
「次に株式投信を一括で購入した場合と積立てた場合との違いを比較してみませんか？」

お客様：「うんそうだね。お願いするよ」

アドバイザー：
「株式ファンドの場合は将来の値動きが予測しづらいので、リーマンショックの時期を含めた過去の実績から、シミュレーションしてみますね。」

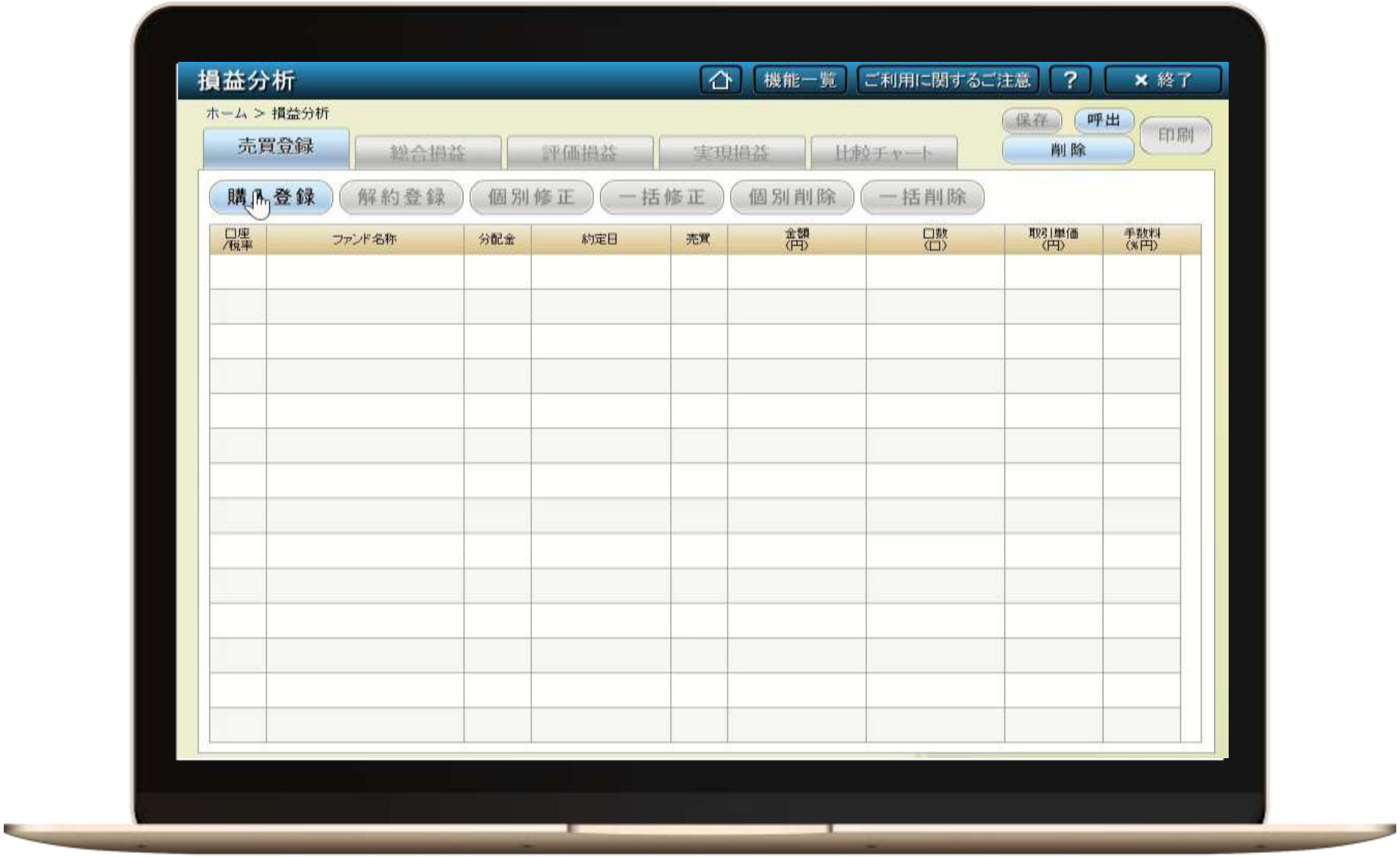
「ここでは、設定当時の18年前から、フィデリティ・ジャパン・アグレッシブ・グロースを毎月1万円づつ積み立てていた場合と設定時にスポット(一括)購入していた場合のシミュレーション比較をしてみましょう。」

積立投資シミュレーション　実践編

株式投信のスポット購入と積立投資との比較

POINT

- ここで選んだファンドは株式投信の中でも運用期間中基準価額がしばらく低下していたが、再度上昇に転じている積立の効果を一番実感できるファンドを選択していますが、おすすめしたい株式ファンドの運用期間が短い場合などは、似た値動きをすると想定されるファンドを選択してシミュレーションすることで、効果を実感していただくことも有効です。



株式投信のケース（一括購入）

ホーム＞損益分析＞購入登録　より

【入力項目】 ファンド名：**フィデリティ・ジャパン・アグレッシブ・グロース**、口座：一般口座、購入方法：通常購入、
コース：分配金再投資コース、約定日：2000年4月20日（設定日）申込金額：**224万円**

※この際の購入金額は毎月1万円積立時の累積投資額と同一としたほうが比較しやすい。

株式投信のケース（積立投資）

積立投資も同じく追加で購入登録をします。

【入力項目】 ファンド名：**フィデリティ・ジャパン・アグレッシブ・グロース**、口座：シミュレーション口座、購入方法：積立購入、

コース：分配金再投資コース、積立開始日：2000年4月20日（設定日）申込金額：**毎月1万円**

積立投資シミュレーション　実践編

株式投信のスポット購入と積立投資との比較

POINT

- 同じファンドを損益分析機能を使用してシミュレーションする場合、別の口座を選択しなければ登録ができません。ここでは一般口座とシミュレーション口座を指定しました。

  つみたてNISAをおすすめしたい場合などはNISA口座を選択し、優遇税制の効果を実感していただくことも可能です。

評価損益

先ほど登録した2つのファンドのシミュレーション情報を入力したら評価損益タブをクリックし損益を確認しましょう。

224万円で一括購入した場合の損益は**46万円**の**マイナス**となっており、毎月積み立てていた場合の損益は、**160万円**の**プラス**になっており大きな差が生じています。

比較チャート

比較チャートタブを押していただくとさらに視覚的に、株式ファンドに長期投資した際の効果を実感していただけます。

積立投資シミュレーション　実践編

お客様との会話事例

アドバイザー：
「このように値動きが激しい株式投信に投資しても積立投資をすることでリスクを軽減することが可能なのです。」

「同じ期間同じ金額を投資しているにもかかわらずなぜこのような結果になったのでしょうか？」

お客様：
「なぜだろう」

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

ドルコスト平均法

リスク分散

積立投資シミュレーション　実践編

お客様との会話事例

アドバイザー：「ドルコスト平均法をご存知ですか？」

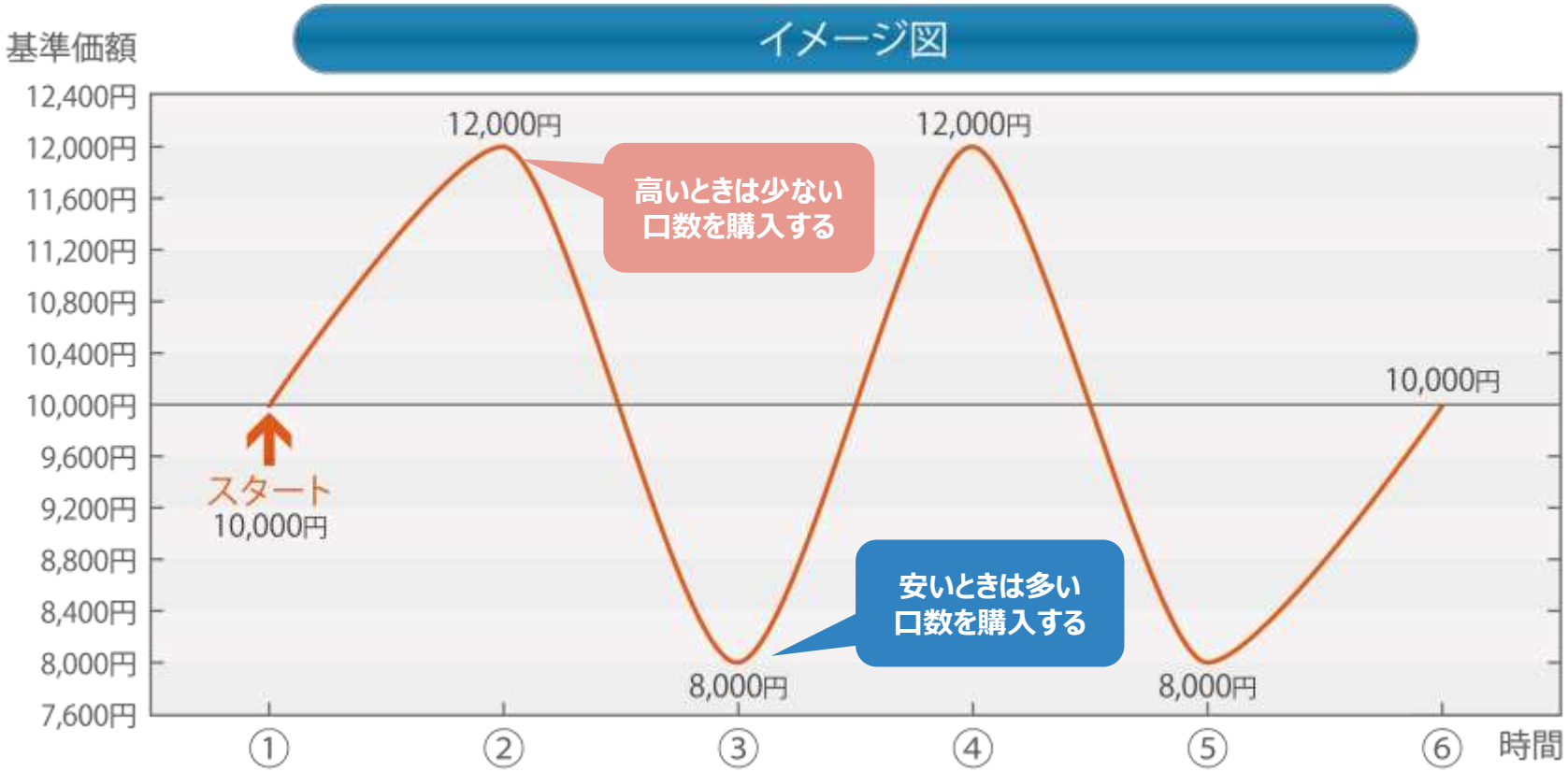
お客様：「知らないなぁ。それに難しそう」

アドバイザー：
「簡単に言うと、決まった金額を定期的に購入することを言います。
例えば毎月1万円分このファンドを買う」というような「決まった額で定期的に購入する方法」を「ドルコスト平均法と呼びます。」

アドバイザー：
「例えば株式ファンドは、基準価額が景気動向などに左右されやすくタイミングによっては高値で購入してしまうリスクがあります。」

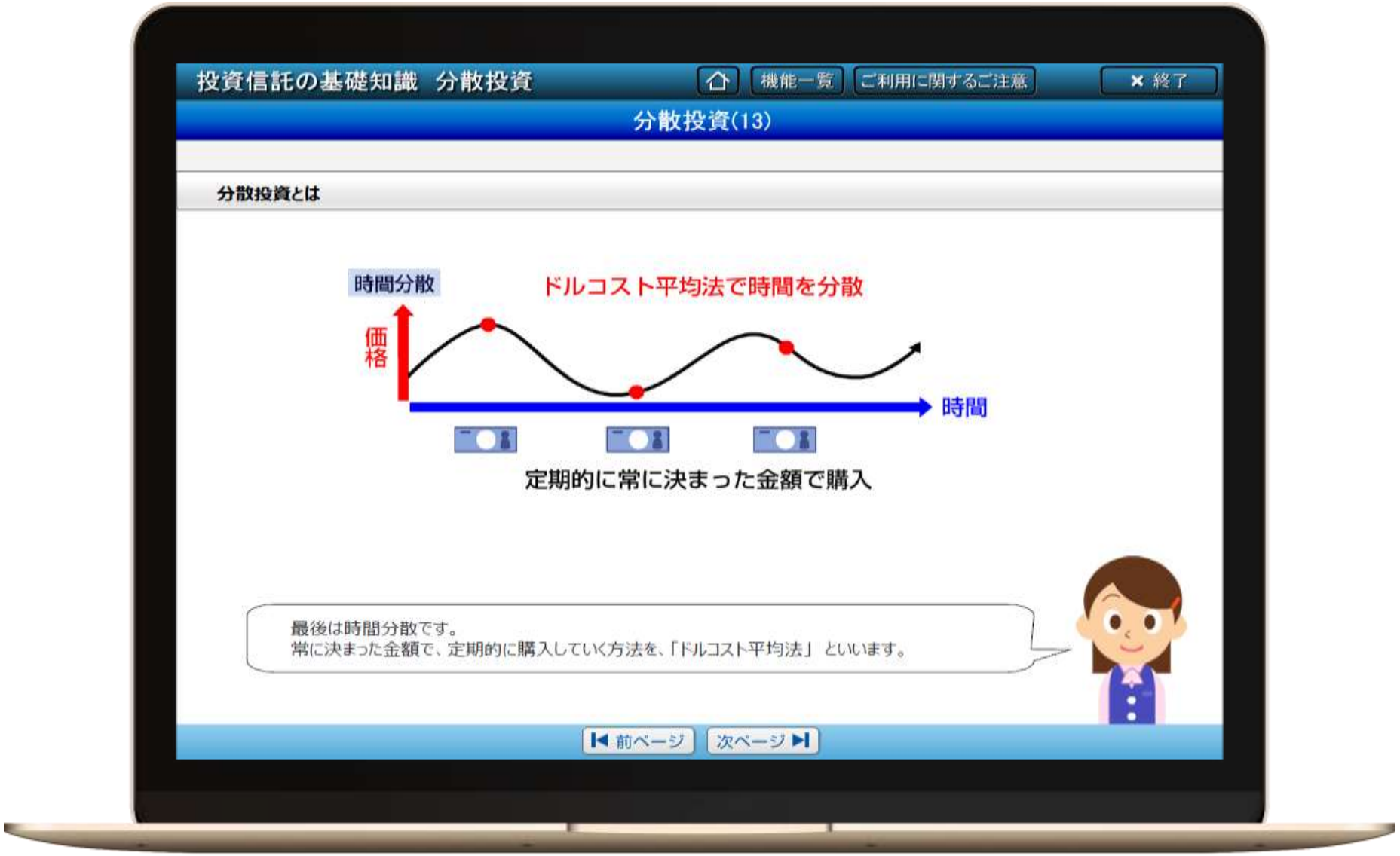
積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法の説明



アドバイザー：

「この方法では基準価額が高い時には、少しの口数しか購入しできませんが、一方で基準価額が低い時には、たくさんの口数を購入できます。そうすることで一口あたりの単価を平準化できリスク軽減効果が期待できます。



「投資信託の基礎知識」メニューからも

ホーム＞ 投資信託の基礎知識＞ 投資の基礎知識＞ 分散投資＞ 分散投資13　をご確認いただければ、ドルコスト平均法に関する説明を確認することが可能です。

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

ドルコスト平均法のメリット

相場に左右されない

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

- 「毎月このファンドを1万円購入するようにしてください」と注文しておけば、あとは自動的に購入してくれますので手間がかかりません。

手間がかからない　相場に左右されない

- 購入するタイミングで悩んだりしなくてすみますし、変動する相場をトラッキングする必要がなく、下落相場でも、多くの口数を購入できるメリットを享受できるので相場に一喜一憂する必要がありません。

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

ドルコスト平均法のデメリット

一方的な価格変動に弱い

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

一方的な価格変動に弱い

- ドルコスト平均法のデメリットは、先ほど説明した普通預金口座に積み立てるなど全く価格が変動しない場合のほかに、一方的な基準価額の上昇・下落には弱いことです。

  基準価額が上がり続けるファンドならば、早いうちにスポット購入することが賢明です。

  基準価額が下がり続ける場合は、そもそも購入しないほうがよいのです。

積立投資シミュレーション　実践編

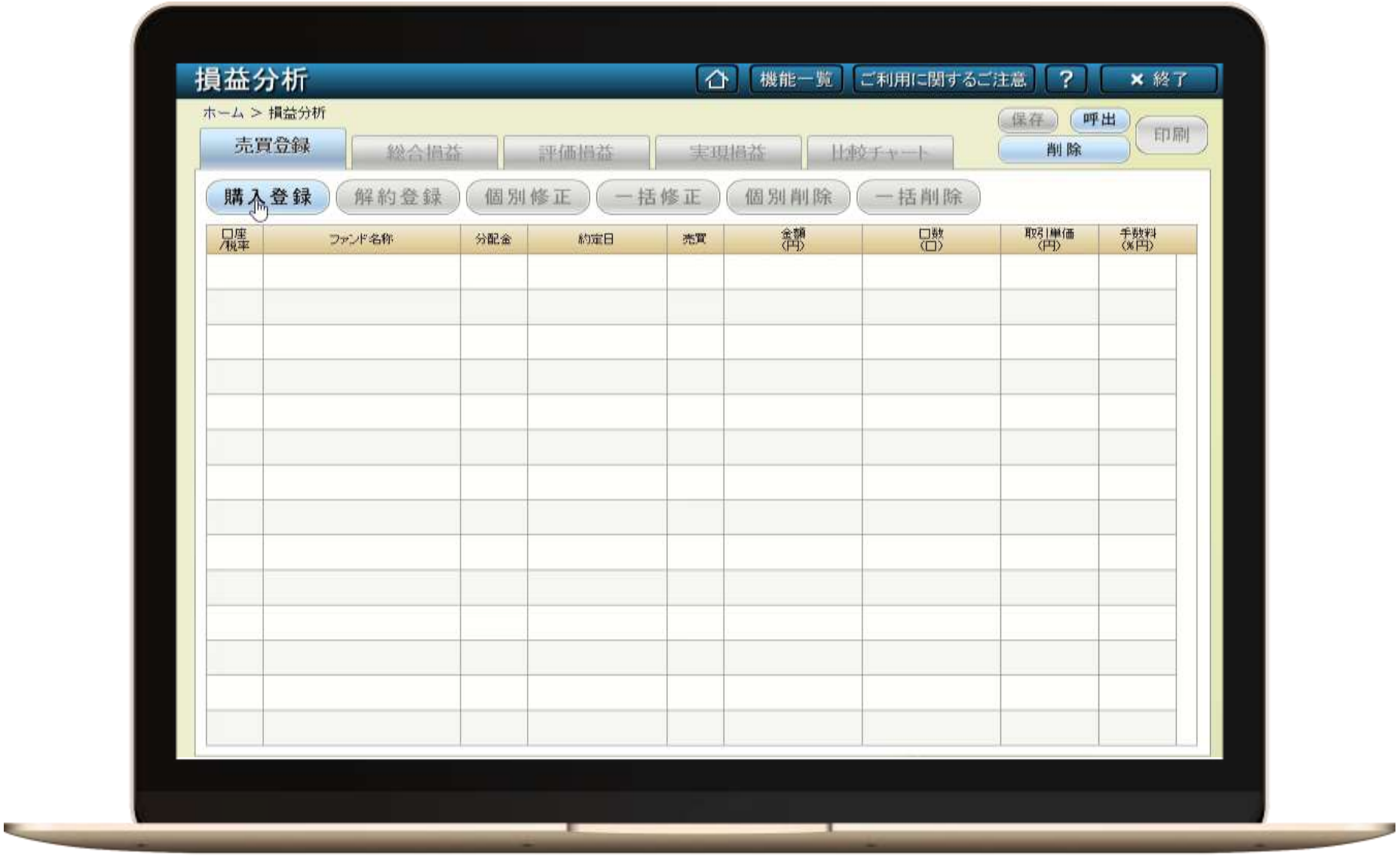
お客様との会話事例

アドバイザー：「ここで一方的に上がり続けているファンドを例に積み立てた場合と一括購入した場合のシミュレーションをしてみましょう。」

お客様：「お願いするよ」

アドバイザー：
「このように積立期間中基準価額(分配金再投資)が一方的に上昇傾向ですと、積立投資の効果があまり見込めません。

お客様：「これなら、最初にまとめて買っておいたほうがよかったね」

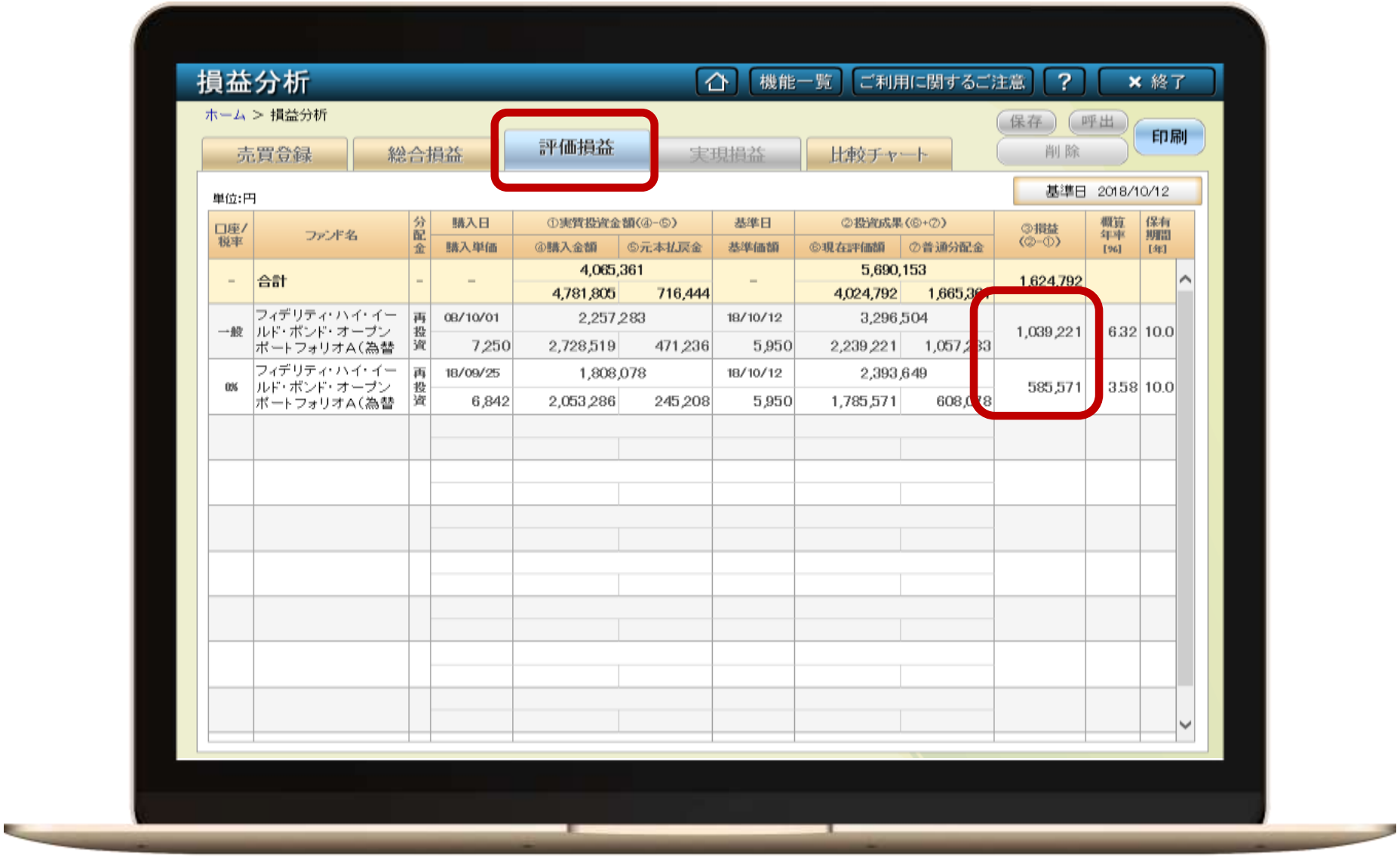


ハイイールド債券ファンドのケース（一括購入）

【入力項目】 ファンド名：**フィデリティ・ハイ・イールド・ボンド・オープン　ポートフォリオA（為替ヘッジなし）**口座：一般口座、購入方法：通常購入、
コース：分配金再投資コース、約定日：10年前(例)2008年10月1日、申込金額：**120万円**

ハイイールド債券ファンドのケース（積立投資）

【入力項目】 ファンド名：**フィデリティ・ハイ・イールド・ボンド・オープン　ポートフォリオA（為替ヘッジなし）**口座：シミュレーション口座、購入方法：積立購入、
コース：分配金再投資コース、約定日：10年前(例)2008年10月1日、申込金額：毎月**1万円**



一括購入VS積立投資（一方的な上昇相場）

2ファンドのシミュレーション情報を入力したら評価損益タブをクリックし損益を確認しましょう。

120万円で一括購入した場合の損益はプラス**103万円**となっており、毎月積み立てていた場合の損益は、**58万円**のプラスとなり、どちらもプラスとなっていますが、一括購入しておいたほうが良い結果になっています。

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

おさらい

積立投資をすすめるにあたり

積立投資シミュレーション　実践編

ドルコスト平均法をご説明する

- まとまった資金がないけれど、将来にそなえておきたい若年層や、毎月一定額の収入がある会社員などに向いています。
- ドルコスト平均法をご理解いただいたら、つぎにつみたてNISAの有効性をご理解いただきましょう。

積立投資が向いている方

初心者や時間のない方

つみたてNISAをすすめたい

- 投資初心者や投資に時間をかけることができない人やこれから少しずつ積立ていきたいと思っている方へは積立投資が有効です。

お問い合わせは　投信ＮＡＶＩサポートセンター

0120-104-529

受付時間　平日8：30～17：30

©一般社団法人　資産形成支援協会

この資料で表示されているファンド検索結果や損益分析のシミュレーション結果は日々変動しており、資料と同一の結果とならない場合がございます。また、過去の運用実績をもとにしたシミュレーション結果は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。また、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。